

志教育の視点	☑かかわる ・ ☐もとめる ・ ☑はたす
--------	----------------------

活動名	ウクライナ出身講師による平和教育
教科・領域等	LHR
活動学年等	2学年
ねらい	国際理解と国際交流を推進し、我が国と他国の文化や生活習慣などについて理解し、よりよい交流の在り方を考えるなど、ともに尊重し合い、主体的に国際社会に生きる日本人としての在り方を探求する。

【実践内容】

〔志教育の視点〕

ウクライナ出身の講師を招き、ウクライナの現状を把握し、地政学の観点から歴史・文化や生活習慣の違いを理解し国際社会の現状について考える。国際社会に貢献できる人材になるために、どのような資質・能力が求められるかを学び、自身がどのようにかかわり、課題解決に主体的に取り組むことができるか探求する。

〔活動内容〕

- 1 事前活動として、現在のウクライナ問題について地理総合・公共の授業で、新聞などを用いて社会科教員より指導を行い、どのようなことが起きているか、原因はどこにあるのかを考えまとめさせた。グループワークを行い、共通認識し理解を深める。
- 2 講話開始前に、講話を行う意義について学年主任が説明し、在日ウクライナ人の講師から講話をしていただいた。内容としては、ウクライナの歴史・現状、戦争の悲惨さや日本からの支援への感謝などが語られた。
- 3 講話が終了すると、母国から避難してきたウクライナ出身のシェフが郷土料理である「ボルシチ」を作ってください参加者全員で試食し、会話を交え国際交流を行った。
- 4 講話終了後に、事後指導とし振り返りを行い本講話についてアンケートを行った。アンケート結果には、全生徒が国際社会について学び平和とは何かを考える良い体験となった旨の回答が多数見受けられた。また、この講話を踏まえて自分に何が出来るか、考えていきたいと答えていた。

